

情報発信ルームの説明書



電源 ON、OFF の順番

電源 ON 順番

「カメラ」→「照明」→「ミキサー」→「マイク」→「PC」→「スピーカー」

電源を OFF 順番

「スピーカー」→「PC」→「マイク」→「ミキサー」→「照明」→「カメラ」

電源 ON のパターンは 2 種類

A パターン：フットマイク収録の場合 P2

B パターン：ピンマイク収録の場合 P6

収録の方法 P8

配信の方法 (Zoom) P11

電源 ON A パターン (フットマイク収録の場合)

1. 主電源を ON にする。



カメラ照明類



PC、音声機器類

2. カメラの電源を ON にする。(レンズカバーを外し、スピーカーの上に置く)



1 カメ



2 カメ

3. 照明の電源を ON にする。



照明 (2つ)

4. ミキサーの電源を入れる



黒 (MG06)

フットマイク用 (テーブル備え付けマイク)



白 (AG06)

5. ミキサーのボリュームつまみを、赤マークのある位置まで上げる。



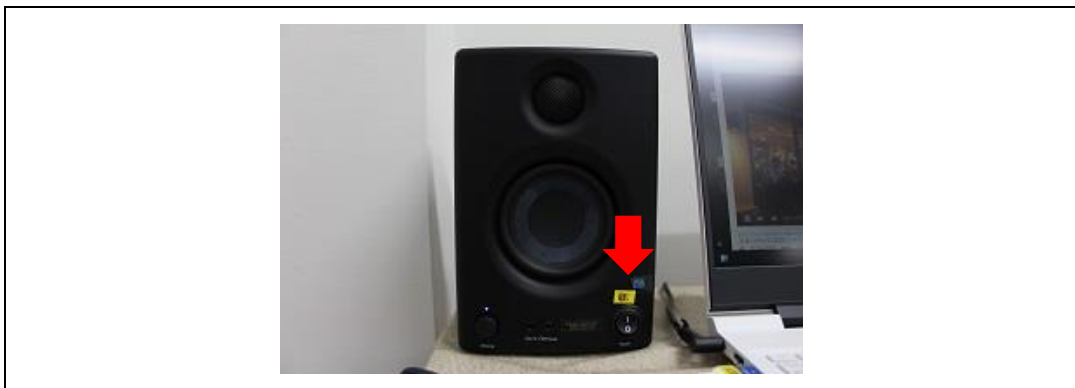
黒 (MG06)



6. PCの電源を入れる。※パスワードは「Guest」



7. スピーカーの電源を入れる。



以上

電源 ON B パターン (ピンマイク収録の場合)

8. 主電源を ON にする。



カメラ照明類



PC、音声機器類

9. カメラの電源を ON にする。(レンズカバーを外し、スピーカーの上に置く)



1 カメ



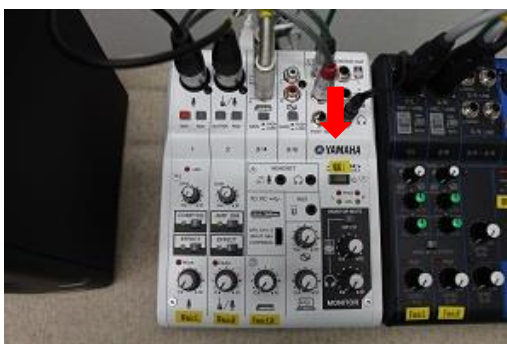
2 カメ

10. 照明の電源を ON にする。



照明 (2つ)

1 1. ミキサーの電源を入れる



白 (AG06)

1 2. ワイヤレスマイクの受信機と発信機の電源を入れる。

※出演者の人数に合わせて、発信機の数を確認させる。(ピンマイクは最大2名)



受信機×1



発信機×2

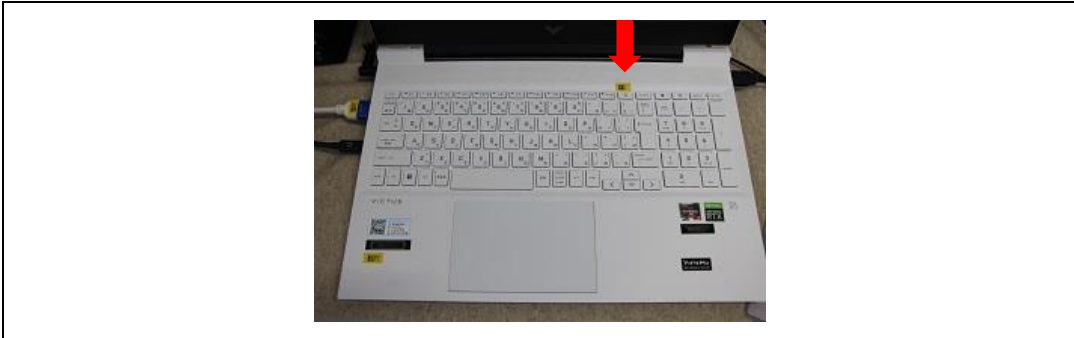
※一人の場合は1台

1 3. ミキサーのボリュームつまみを、マークのある位置まで上げる。

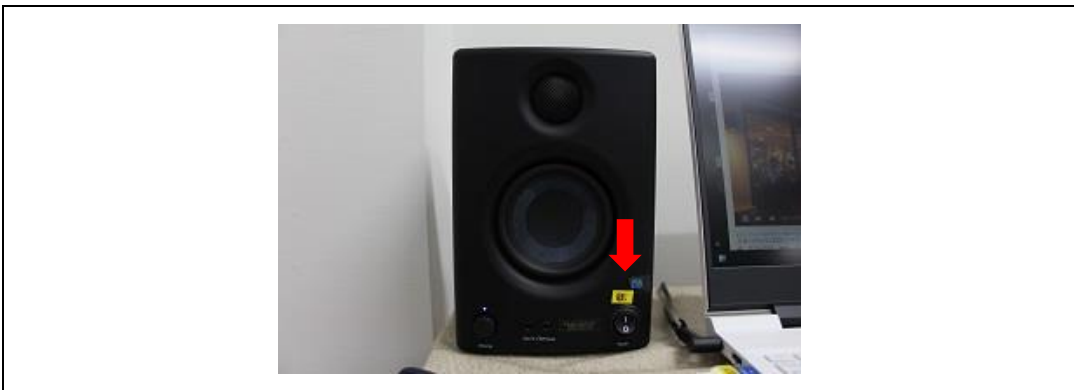


白 (AG06)

14. PCの電源を入れる。※パスワードは「Guest」



15. スピーカーの電源を入れる。



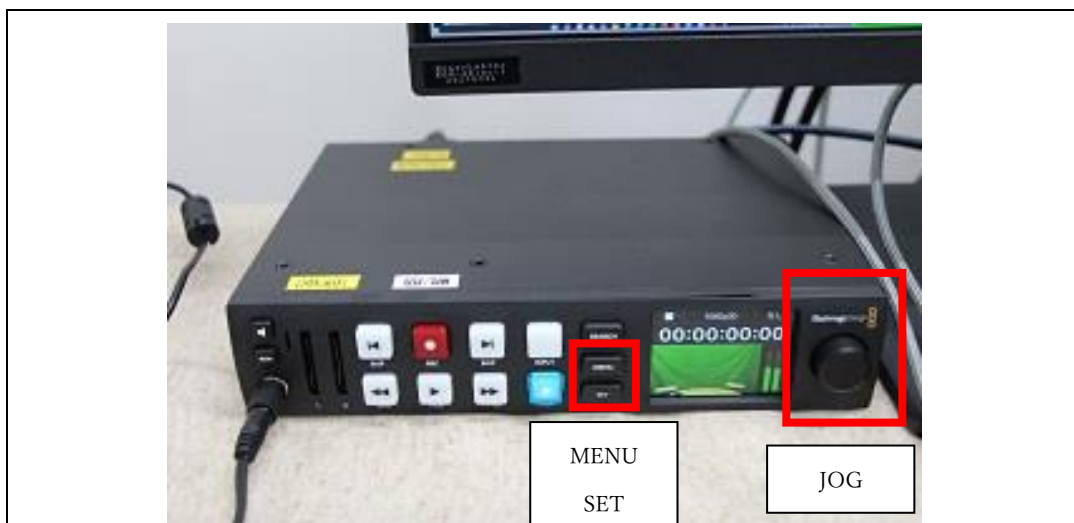
以上

収録の方法

1. 収録機材に SD カードを差し込む



2. SD カードをフォーマットする。



1. 「MENU」 ボタンを押して、「JOG」 を回して「ストレージ」メニューへ

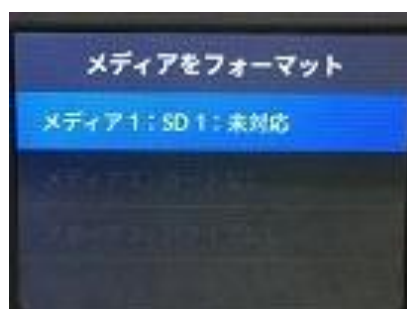


2. 「ストレージ」で「SET」を押して「JOG」を回して「メディアフォーマット」

を「SET」で選択



3. フォーマットする「メディアを選択」して「SET」

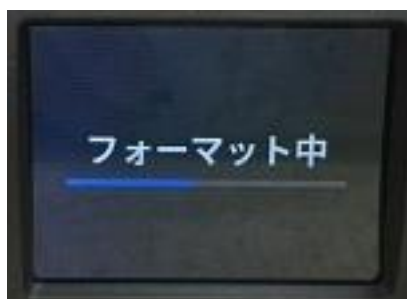


4. 「exFAT」を「SET」で選択。

※MacOS で編集される場合は「MacOSextended」でもよい。



4. 「確認画面」が表示されたら、「フォーマット」を選択し「SET」でフォーマット開始。SD カードがフォーマットされます。



【注意】

フォーマットすると、SD カードに入っているデータはすべて削除されます。

5. 音声を確認する

 <p>ヘッドホンジャック</p> <p>ココに刺さっているヘッドホンで音声を確認する。</p>	 <p>ヘッドホン</p>
---	---

6. 録画ボタンを押す



録画

停止

以上

配信の方法 (Zoom)

- ・配信サービスにログインしたのち、カメラとマイクを設定する必要がある。
- ・実際の配信されている音声を確認したい場合は「①PAスピーカー」「②PCのスピーカー」「③PCに直接ヘッドホンを差し込む」の3つの方法から選べる。

※スピーカーのボリューム次第でハウリングの可能性がある。

推奨順

「ピンマイク」×「PCにヘッドホン」

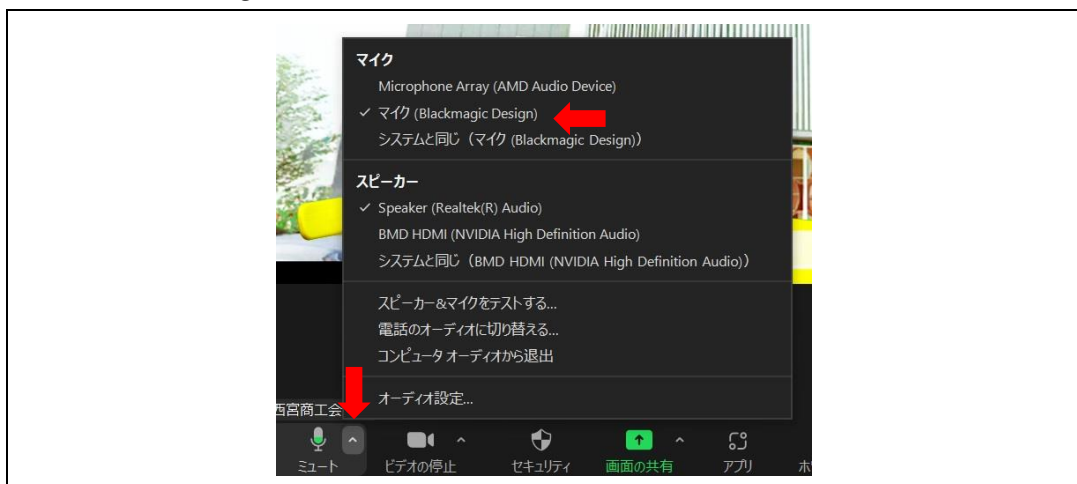
「ピンマイク」×「PCスピーカーorPAスピーカー（音量小さめ）」

Zoom の場合

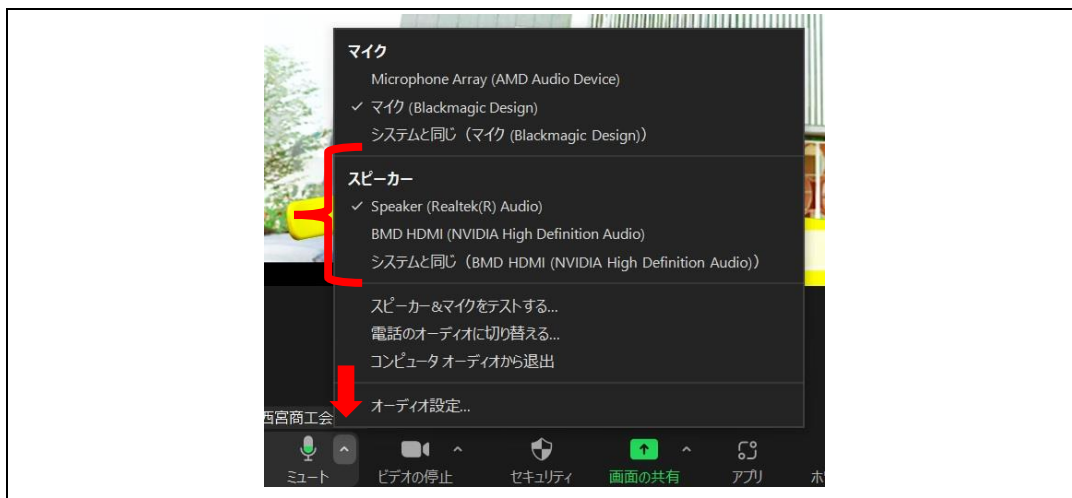
1. Zoom にログインする。
2. カメラを「Blackmagic Design」に設定する。



3. マイクを「Blakmagic」に設定する。



4. スピーカーを選択する。



以下のいずれかを選択する。

- ① BMD HDMI (NVIDIA High Definition Audio) → PA スピーカー
- ② Speaker (Realek(R)Audio) → PC のスピーカー
- ③ PC のイヤホンジャックにヘッドホンを指す→ Headphone(Realtek(R)Audio) を選択できるようになる。

5. スピーカーとマイクのテストをする。



6. 画像と音声の確認が問題なく終わったら、配信準備完了。

以上